



new kimono brand
itoyu

糸遊



美しく、艶やかに…
和のファッションを極める

染色クリエーター

加納 寛二の世界

会期 2015年 6月 19日(金) 20日(土) 21日(日)

10:00~19:00 (21日のみ10:00~17:00)

会場 松屋きものビル 2Fギャラリーホール



加納寛二
プロフィール

西陣の地で百数十年にもわたり機屋を営んでいる旧家に誕生。1975年より染色、金彩工芸の修業を始め、1981年に実家でもある加納幸にて織物の研究をはじめ。1984年に現会社を設立。その後、ヴォーグ・パリ誌に和装で初めて掲載されたり、ニューヨーク・メトロポリタン館の日本館に作品を展示されるなど、国内外で活躍。日本文化デザイン会議の会員。現在、染色工房「スコープ・ココ」代表として精力的に創作活動を展開。

進化する伝統美を求めて…

工房スコープ・ココ代表、加納寛二氏は西陣で130年の歴史を誇る機屋、加納幸の次男として生まれ、染屋での修業を経て加納幸で織の総てを学びました。

もの創りのコンセプトは、茶道の精神の中にある「守 破 離」—しゅはり—

守は伝統、破は革新的、離は独創性・オリジナリティの意味で、柄はあくまでも古典ベースで生地、取り方、色彩などで他との異なりを表現しています。

人どこか違うお洒落で粋な雰囲気が漂う着物姿。

親子で共用できる着物。

着物だけが目立つのではなく本当にその人にあった着物。さらに軽くて着心地がよく、シンプルで個性溢れる着物づくりを目指しています。

—出品作品—

訪問着・着尺・袋帯・オリジナルコーディネート小物

新体験！

この軽さ、この着心地
この透け感、そしてこのおしやれ感

new kimono brand
itoyu

糸遊

羽衣装

HANEISHO

新しい感性と伝統を融合させた「糸遊」。軽い素材を使用し、光を通す透け感と着心地を考えたデザインは、まるで天女が身にまとった羽衣のように美しく艶やか。着る人のことを一番に考えて、着姿のシルエットや表情がいきいきと映えるように意匠をおこし、上品でありながら「同じものでも、どこか違う」きものをご提案します。

同時発表

次世代の和装界を担う
若手きものデザイナーのホープ

加納 圭悟

Keigo Kano

new kimono collection

<加納圭悟プロフィール>

1999年 甲南大学入学。
2004年 ロンドンへ留学。留学中、ビクトリアルパート美術館、ルーブル染色美術館、オルセー美術館、テートモダン美術館サーチギャラリーを始め、ヨーロッパ美術館を巡り、日本の文化に興味を持つ。
2006年 アパレル会社就職。
2008年 株式会社スコープココに入社。
2010年 上海万博着物ショーにて、日本代表として着物・帯を出展。アジア広場にて、過去に例をみない動員数を記録。
2011年 X JAPANのYOSHIKIと着物・帯を共同制作し、3月6日に行われたAJIA GIRLS EXPLOSIONのファッションショーで「YOSHIKIMONO」を発表。代々木体育館に1万人集客。



utsukusikimono matsuya

うつくしきもの



逗子銀座通り中央 逗子市逗子1-6-1
フリーダイヤル 0120-073-529 / TEL 046-873-1000
営業時間 AM10:00~PM7:00(1月2月はAM10:00~PM6:30) 毎週水曜定休

<http://matsuya.gr.jp>

うつくしきもの松屋

検索